

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">日本文学講読Ⅴ</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部日文1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">森崎 光子</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">近代の短編小説を読む</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>芥川龍之介の「羅生門」と井伏鱒二「鯉」を取り上げる。特に「羅生門」は彼の代表作の1つであり、高等学校の国語の時間で習った学生さんも多いはずだ。その作品を大学でも取り上げるのは、高校で文学作品を読むのと大学で読むのでは大きな違いがあり、それを体感してほしいからだ。</p> <p>したがって、この授業では、大学での文学作品の研究の仕方を身に付けることを目標とする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業中に課す課題の成果や熱意から出した平常点、さらに出席状況、およびレポートの結果によって評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">授業中、プリントを配布する</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の内容・進め方の説明、受講にあたっての注意。</li> <li>2 芥川龍之介「羅生門」——成立事情</li> <li>3～4 ———「悪くこたはつた恋愛問題」</li> <li>5～6 ———「羅生門」前史</li> <li>7 ———典拠『今昔物語』との比較・分析</li> <li>8～9 ———内容分析・主題</li> <li>10 ———初出の本文と決定稿との比較・分析</li> <li>11 レポートの書き方</li> <li>12 井伏鱒二「鯉」——成立事情</li> <li>13～14 ———内容分析・主題</li> <li>15 まとめ</li> </ol>		